

様式 3

令和4年度 第1回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立鳥取中央育英高等学校

校長 檜 佳憲

評 価 日	令和4年6月22日(水)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の評価A, Bは学校の努力の成果。評価Cについては、問題点と今年度の改善策はどうか。 ・昨年度第3回の反省が生かされていて感謝。ボランティア精神、利他の精神の育成はありがたい。 <p>2 評価項目と目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動が気になっている。陸上競技の中国大会の活躍は喜ばしい。優秀な選手と一緒に練習できるような企画があったら応援したい。 ・ボランティアの北栄ツアーに生徒は10回くらい参画して実現している。もっと評価されてもいい。昨年度は、日本海新聞の賞をとっている。北栄ツアーを大々的に発信していただきたい。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティースクールの枠組みを生かして、高校の魅力化を進めたい。まずは北栄町に事務局を置いて魅力化に向けた具体的な検討を開始し、できることがあれば予算をたてて来年度から進めたい。 ・部活動の地域移行が進み、地域の人材が指導する陸上クラブの小学生と陸上部と一緒に練習するような活動ができるとよい。 ・魅力があって、学びたいことがあれば生徒はどこの高校でもいく、自分が学びたいことがその学校にあるかどうかが一番ではないか。 ・中学生にとって、何が魅力なのか分析すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何が足りなかったのか検証できるように目標をたて直した。 ・今年度は、ボランティアサークルの加入者が増加。ボランティアの要請があれば積極的に参加させたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校独自事業でもトップアスリートに触れる機会を設けている。ぜひ、本物に触れる機会を増やしていきたい。 ・HPなどで発信していきたい。また、今年度は「地域探究の時間」の実施内容を見直した。1年生は「地域探究入門」を実施し、探究スキルの育成をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・御提案に感謝。令和5年度以降の本校の在り方について、北栄町、琴浦町、県教委等と相談しながら進めたい。 	